

---

# Unlawful

高嶺蝸

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Unlawful

### 【Nコード】

N5328BA

### 【作者名】

高嶺蝸

### 【あらすじ】

山村と町を繋げてできた町、想谷市。相茶魅月は家庭の事情で想谷市に引っ越してきた。そこで魅月が教えられたのは昔から伝わるある『掟』。オマモリ様の気に触れなくては、その『掟』は絶対に破つてはいけない。『掟』を破れば、その者には罰が与えられる。

## 八ヶ条の掟

### 掟の八ヶ条

御護村では、以下の掟を守るべし。

決して破るべからず。

掟に背くものには、オマモリ様から罰が与えられよう。

- 一、オマモリ様の真名を口にするべからず。
- 二、オマモリ様の名を騙り、悪行を尽くすべからず。
- 三、日没後に一人で外を歩く祭には必ず鈴を持つこと。
- 四、夕刻時に鳥居を潜るべからず。
- 五、丑の刻に御護神社で声を上げるべからず。
- 六、御護神社の前で誰かに後ろから声をかけられても応えるべからず。
- 七、映し子に危害を加えるべからず。
- 八、村に残るものは掟を後世に正確に伝えること。

## 想谷の地

車窓から眺めた景色は田畑が大半を占めていた。

僕が九月から転校する高校の名前は想谷おもいたに高校。緑に囲まれた山村に建てられた学校だ。僕が以前通っていた都会の学校とは真逆と言ってもいいだろう。

僕の転校が決まったのは今から一ヶ月前。よくある親の都合だった。母は僕が小さい頃に他界して僕は父と二人暮らしをしていた。父はそれなりに有名な評論家で、その名声は国外にも広がっているほどだった。そんな父が先月、仕事の都合で外国に行くことが決まった。父は外国に向かい、僕は叔父の家に預けられることになった。

とは言っても叔父には小さい頃に会ったきりで、それからは顔も見合わせたことも無かった。

そんな叔父の家に居候するのは、若干肩身が狭く悪い気がした。しかし、だからと言って一人暮らしをできるほどの力もお金もない僕には、結局叔父に頼ることしかできなかった。

電車内に流れるアナウンスが次に止まる駅が僕の降りる駅だと言うことを知らせてくれる。

僕は準備をして、新しい生活と土地に少々の不安と期待を抱えて席を立った。

そして、長い長い想谷おもいたに一市での生活が始まるうとしていた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5328ba/>

---

Unlawful

2012年1月14日22時48分発行